

先人たちの足跡 No.1 草々の項

平成20年は、幌延町の大地に開拓の鍬が振り下ろされた明治32年から数えて110年を迎えました。開基110年という節目の年に、いま一度、先人たちの血と汗の尊い足跡をたどり、感謝の心を捧げるとともに、豊かな大地と開拓精神を次代に伝えていくため、今月号からシリーズで掲載していきますのでご期待ください。

○「幌延村」の誕生

幌延という名称は、明治11年（1878）10月22日の開拓使の長官黒田清隆による次の布達で定められました。（新幌延町史では10月25日となっていますが、北海道立文書館史料集第10「申奏録（4）明治11年」に記述されている日付としました。）



申奏録（明治11年）

甲第十号

当使官下天塩国天塩郡及北見国宗谷郡外三郡へ左ノ村名
相設候條此旨布達候事
明治十一年十月廿二日

開拓長官 黒田清隆

天塩国天塩郡
砂流村 幌延村 天塩村 遠別村
(以下省略)

この布達では、「ほろ」の漢字が糸偏であり、「延」の振り仮名は「のぶ」になっていますが、いつの時点で現在の文字、読み方になったかは不明です。（「大字源（講談社）」によると、幌と幌は同じであると記されています。）

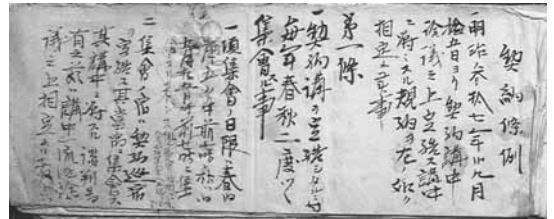
「ほろのべ」は、アイヌ語の「ポロ」「ヌプ」の転訛で、大きな平原を意味していますが、大正4年発刊の「新天地の天塩」には「幌延 俗にホロノベと称するもホロノブと言うが正しからん」と記されていることから、語呂の面から「のべ」に転訛したと思われる。

○幌延町の開基

明治32年（1899）春、福井団体15戸が下サロベツ原野に入植し、次いで本願寺農場（幌延）、天塩農場（開進）、及び法華宗農場（上幌延～開進）の開設があったことから、この年が幌延町の開基とされました。

戸口統計をみると、明治32年の本町の戸数は9戸、人口42人でしたが、翌33年は移住者の増加により250戸、546人となりました。

このシリーズで使用した写真の利用又は新幌延町史の購入（1冊5,000円、送料別途）をご希望の方は、役場までお問い合わせください。



天塩農場契約条例（明治37年）

お問い合わせ先

役場総務課企画振興グループ 電話01632-5-1111(内線222,223)

クールビズを実施しています

平成20年6月16日～8月31日

- ◆ 役場（本庁舎・出先機関）では、6月16日から8月31日まで、涼しく効率的に働くことができる「夏の軽装」（クールビズ）を推進します。
- ◆ クールビズ実施に伴い、軽装（ノー上着、ノーネクタイ）で業務を行っていますので、ご理解をお願いします。
- ◆ 町民の皆さんも、会議等で役場機関にお越しの際は「ノー上着、ノーネクタイ」の軽装でお出かけください。



萌える天北オロロンルート

暮らしぶりの映し～北の光が続く道～

6月21日(土)ひらめ底建網オーナーin遠別が開催されました。全国から882件の応募があり120名のオーナーの元へ、遠別町のひらめが送られました。

● 留萌管内海開き情報 ●

- ◆ 遠別町 ・みなくるびーち 7月19日(土)
- ◆ 初山別村 ・豊岬海水浴場 7月15日(火)
- ◆ 羽幌町 ・はほろサンセット 7月1日(火)
- ◆ 苫前町 ・とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチ 7月1日(火)
- ◆ 小平町 ・おにしかツインビーチ 7月12日(土)
【今年から、波を楽しめるオープンビーチも使用できます】
- ◆ 留萌市 ・臼谷海水浴場 7月12日(土)
- ◆ 増毛町 ・ゴールデンビーチ 7月19日(土)
- ◆ 増毛町 ・暑寒海水浴場 7月19日(土)

お問い合わせ

萌える天北オロロンルート 運営代表者会議事務局
〒077-0005 留萌市船場町2丁目 J R 留萌駅2階 ☎0164-42-3871 FAX0164-42-2200
e-mail:tenpoku-ororon@moeru.fm 現在ホームページ作成中!